

別紙2 参考様式

現在の人・農地プランの区域の全部又は一部の区域であって既に実質化していると判断する地区

対象地区名	範囲	区域内農地面積(ha)	近い将来の農地の受け手①		近い将来の農地の出し手②		①及び②の面積合計(ha)	備考
			中心経営体数	現状の経営面積合計(ha)	農業者数	貸付等予定面積合計(ha)		
氷見	朝日、村上、谷内、加納、諏訪野、氷見北部、鞍川、横羽毛、沖布、大野新	176	9	113	—	—	113	
稲積	上稲積、下稲積、間島	63	6	59	—	—	59	
神代	大浦、堀田、蒲田、神代、矢の方	201	12	103	—	—	103	
布勢	布施、深原、寺飯久保、城飯久保、上矢田部、下矢田部、三田窪	182	12	123	—	—	123	
十二町	粟原、上久津呂、下久津呂、中谷内、万尾、西朴木、上十二町、下十二町、川尻、海津	292	15	182	—	—	182	
丸三	中村、谷屋、新保	162	7	91	—	—	91	
阿尾	阿尾、北八代、指崎、森寺	207	8	107	—	—	107	

注1:1集落1農場を実現しているような区域においては、区域の受け手の事業が将来にわたって安定的に継続される見込みを後継者の確保状況等により確認し、確認した旨を「備考」欄に記載します。

注2:「範囲」を集落名等により特定できない場合には、地図等を用いて特定することができます。

注3:「近い将来の農地の受け手」の「現状の経営面積合計(ha)」には、対象地区内における中心経営体の現状の経営面積の合計を記載してください。